

## 第3条 プレーヤーの人数



### 定義

「チーム A Team」とは、試合を開始する15名のプレーヤーと、交替／入替えとして認められているプレーヤーからなる。

「交替のプレーヤー Replacement」 負傷した味方のプレーヤーと交替するプレーヤー。

「入替えのプレーヤー Substitute」 戦術的理由で味方のプレーヤーと入替わるプレーヤー。

### 3.1 競技区域における、プレーヤーの最大人数

両チームとも、プレー中に競技区域内にいるプレーヤーの人数は、15名を超えてはならない。

### 3.2 認められた人数以上のプレーヤーからなるチーム

いずれのチームも、相手側のプレーヤーの人数について、試合前、試合中のいつでもレフリーに異議を申し立ててよい。レフリーは、プレーヤーの人数が多すぎると認めれば直ちに、そのチームのキャプテンに適切な人数に減らすよう命ずる。ただし、申し立てた時点での得点は変わらない。

**罰：**次に試合の再開される地点でペナルティキック。

### 3.3 15名未満のプレーヤーによる試合

協会は、1チームにつき15名より少ないプレーヤーによる試合を許可することができる。この場合、スクラムにおいて常に1チームにつき少なくとも5名のプレーヤーが参加しなければならないとする以外は、本協議規則がすべて適用される。

**例外：**7人制の試合は例外とし、「7人制標準競技規則」による。



### 3.4 交替／入替えのプレイヤーとして指定されたプレイヤー

国の代表で行われる試合においては、協会が指定する交替／入替えのプレイヤーの数は7名以内とする。

その他の試合においては、交替／入替えのプレイヤーの数は最大7名までとし、その試合を管轄する協会が決定する(8名となる場合は競技規則3.14にもとづく)。

フロントローについては2名まで(3名となる場合は競技規則3.14にもとづく)、その他のプレイヤーについては5名まで、入替えることができる。入替えは、ボールがデッドになったときに、レフリーの許可を得て行う。

### 3.5 フロントローとして適切に訓練され、かつ経験のあるプレイヤー

- (a) 次の表は、指名するプレイヤーの人数と、それに応じて含めなければならない、フロントローとして適切に訓練され、かつ経験のあるプレイヤーの人数を示す。

指名人数	フロントローの人数
15名以下	3名
16名から18名	4名
19名から22名	5名
競技規則3.15により22または23名	6名

- (b) フロントローとしてプレーするプレイヤーはそれぞれ、適切に訓練され、かつ経験のあるプレイヤーでなければならない。
- (c) 指名人数が19～22名の場合、フロントローとしてプレーできるプレイヤーが5名いなければならない。その目的は、フッカーの交替が必要とされる1回目の場合、およびプロップの交替が必要とされる1回目の場合に、通常のコンテストスクラムで安全にプレーを続けるためである。

## 第3条 プレーヤーの人数



- (d) 試合開始時のフロントローに代わってプレーするプレーヤーは、適切に訓練され、かつ経験のあるプレーヤーであれば、試合開始時からのプレーヤーであっても指名された交替／入替えのプレーヤーであってもよい。

### 3.6 不正なプレーによる退場

不正なプレーにより退場させられたプレーヤーに対して、交替や入替えをしてはならない。その例外に関しては、第3条13を参照。

### 3.7 正式の交替

プレーヤーが負傷した場合には交替してよい。正式な選手交替となった場合には、その負傷したプレーヤーは、その試合に再び加わってプレーしてはならない。負傷交替は、ボールがデッドになったときにレフリーの許可を得ておこなわねばならない。

### 3.8 正式な選手交替の決定

- (a) 一方が国の代表チームで行う試合では、医師の意見に基づき、その負傷したプレーヤーがプレーを続けない方がよいとされたとき初めて交替してよい。
- (b) その他の試合については、協会が明確な許可を与えた場合に限り、医務心得者の勧告があった場合に、負傷したプレーヤーを交替してよい。医務心得者不在の際は、レフリーの同意による。

### 3.9 負傷したプレーヤーのプレーの継続を停止するレフリーの権限

医師または他の医務資格者の勧告の有無にかかわらず、レフリーがそのプレーヤーがプレーを続けることを停止すべきであると判断した場合には、負傷したプレーヤーを競技区域より外へ出すよう命じることができる。またレフリーは医務検査を受けるようプレーヤーを競技区域外へ出すことができる。

## 第3条 プレーヤーの人数



### 3.10 一時的交替

- (a) 出血をおさめるか開いた傷口を覆うかの両方、またはいずれか一方の処置を受けるため競技区域からプレーヤーが出たときには、一時的交替を認める。一時的に交替されたプレーヤーが競技区域から出て経過時間15分以内にフィールドオブプレーに戻らない場合、一時的交替をしたプレーヤーは正式な交替となる。元の一時的に交替されたプレーヤーはフィールドオブプレーに戻ってはならない。
- (b) 一時的交替をしたプレーヤーが負傷した場合には、さらに交替を認める。
- (c) 一時的に交替をしたプレーヤーが不正なプレーにより退場となった場合には、元の一時的に退出していたプレーヤーは再度競技区域に戻ってはならない。
- (d) 交替したプレーヤーが一時的退出（シン・ビン）を命じられた場合、一時的に退出していた元のプレーヤーは、一時的退出（シン・ビン）が終了するまで競技区域に戻ることができない。

### 3.11 再度試合に戻ることを望むプレーヤー

- (a) 傷口が開いたり出血しているプレーヤーは、競技区域から退出しなければならない。出血がおさまり傷口が覆われるまで戻ってはならない。
- (b) 負傷またはその他の理由により退場したプレーヤーは、レフリーから戻る許可を受けるまで再び試合に加わってはならない。レフリーは、ボールがデッドになるまで試合に加わらせてはならない。
- (c) レフリーの許可を受けることなく、そのプレーヤーが再び試合に加わり、または、交替/入替えのプレーヤーが試合に加わり、レフリーがその行為を、味方を助ける、あるいは、相手側を妨害するものであるとみなした場合、不行跡として罰を科す。

**罰：**次に競技が再開される予定の地点でペナルティキック。

### 3.12 入替わったプレーヤーが再度試合に加わること

- (a) 入替わったプレーヤーは、たとえ負傷したプレーヤーの交替としても、その試合に再び加わることはできない。

**例外1:** 傷口が開いている、または、出血しているプレイヤーとの交替は認める。

**例外2:** フロントローが負傷、あるいは一時的退出または退場となった場合、交替してもよい。ただし、フロントロープレイヤーがフィールドオブプレーを離れることになったプレーの前に、レフリーがノンコンテストスクラムを命じていて、そのチームが、認められている交替/入替えのプレイヤー全員を出場させてしまっている場合を除く。

- (b) ノンコンテストスクラムが命ぜられたが、フロントロープレイヤーに交替が必要な負傷が生じ、負傷したプレイヤーと交替可能なフロントロープレイヤーがいる場合、そのプレイヤーが交替しなければならず、他のプレイヤーであってはならない。

### 3.13 フロントローが退場もしくは一時的退出、または負傷した場合

- (a) フロントローの1人が退場を命じられた後、または一時的退出制度を適用されている間に、当該チームの指名されたすべてのプレイヤーの中にフロントローがいなくなればノンコンテストスクラムを命じる。この場合、交替するフロントローが訓練され、適切であるかどうかを決定し、またいるのかどうかを決定するのはレフリーの責任においてではなく、チームの責任においてである。
- (b) フロントローの1人が退場または一時的退出制度を適用されている間、レフリーは、次のスクラムを与える際に、このポジションのために適切な訓練を受けている他のプレイヤーが競技区域にいるかどうかを、当該チームのキャプテンに聞く。もし誰もいない場合は、キャプテンはチームから1名を指名する。このプレイヤーは競技区域から退出し、交替プレイヤーの中の適切な訓練を受けているフロントローと入替わる。キャプテンは次のスクラムの前に指名してもよいし、他のプレイヤーがフロントローとしてプレーしてみた後でもよい。
- (c) 一時的退出の時間が終了し、フロントローがフィールドオブプレー戻るときは、交替していたフロントロープレイヤーはフィールドオブプレーを去り、退出の間、フィールドオブプレーを去るよう指名されたプレイヤーは、試合に戻りプレーを再開することができる。

- (d) さらに、退場あるいは負傷が理由で、十分に適切な訓練を受けているフロントローのできるプレーヤーが他にいなくなった場合には、ノンコンテストスクラムにより続行される。
- (f) 試合中、適切に訓練され、かつ経験のあるフロントローがいなくなり、競技規則に従ってレフリーがノンコンテストスクラムを命じた場合、レフリーは、試合主催者にその旨を報告する。
- (g) 試合前の時点で適切に訓練されたフロントローがないために通常のスクラムを行うことができない場合、レフリーは、ノンコンテストスクラムを命じ、試合主催者にその旨を報告する。
- (h) 試合主催者は、試合前の時点で適切に訓練され、かつ経験のあるプレーヤーがいらない場合、試合を始めてはならないことを大会規則の中で定めることができる。

### 3.14 各協会に適用を委ねられる特別ルール

- (a) 協会は、その管轄する特定のレベルの競技において、「自由入替え制 (Rolling Substitutions)」を実施することができる。入替えの回数は、12回を超えてはならない。入替えの管理と規則は、その管轄権を有する協会の責任である。
- (b) 単独の協会、あるいは、2つ以上の協会のチーム間で行われる試合ないしは大会の場合、その協会は、国際レベル以下の試合に下記(c)および/または(d)の競技規則3.4の特別ルールを適用することができる。
- (c) 指名人数が22名ないしは23名の場合、フッカー、タイトヘッドブロップおよびルースヘッドブロップとしてプレーする、適切に訓練され、かつ経験のあるフロントロープレーヤーが十分いなければならない。その目的は、フロントローの各ポジションでの交替が必要とされる1回目の場合に、通常のコンテストスクラムで安全にプレーを続けるためである。
- (d) いかなる理由であれ、適切に訓練され、かつ経験のあるフロントロープレーヤーの交替要員がいなくなり、ノンコンテストスクラムが命じられる場合、当該チームは、いなくなったことでノンコンテストスクラムの原因となったプレーヤーを戻すことはできず14名でプレーする、という条件を適用してもよい。